

女性の皆様へ



未来のワクシの
ためにできること

HPV ワクチン (子宮頸がんワクチン)のご案内

公費で受けられるがん予防！

HPV ワクチンってなあに？

HPV(ヒトパピローマウイルス)は、女性の多くが
一生に一度感染し、子宮頸がんの原因となるウイルスです。

多くの場合、感染してもウイルスは自然に消えます。しかし一部では、
がんになってしまうケースもあります。20代後半から30代で、近年増加
傾向である子宮頸がんを始め、膣がん等多くの病の原因となりうるウイルス
です。そこで HPV 感染を防ぐために開発されたのが、HPV ワクチンです。

カラダを守る
かしこい選択



どうしたら受けられるの？

当院では下記の条件を満たす方であれば、公費(自己負担額なし)で接種を受けることができます！

- ① 大和市在住で、接種券をお持ちの方
- ② 小学校6年生～高校1年生の女の子 または
- ③ 平成9年度生まれ～平成19年度生まれ(1997年4月2日～2008年4月1日生まれ)の女性で、過去に HPV ワクチンの接種を計3回受けていない方

③に該当する方は

令和4(2022)年4月～令和7(2025)年3月の
3年間、HPV ワクチンを公費で接種できます。

ワクチンの種類

ワクチンにはいくつか種類がありますが、
当院で受けられるのは、
9価ワクチン『シルガード』です。

決められた間隔をあけ、同種類のワクチンを
計2～3回接種します。(※当院では
シルガード(9価ワクチン)のみの対応です)

一般的な接種スケジュール



※1…1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。

※2・3…2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上(※2)、3回目は2回目から3か月以上(※3)あけます。

注意事項

- ① 接種の申し込みは、お電話での予約制となります。
- ② お電話での予約時は、大和市から配布された接種券と母子手帳をご用意ください。

Q&A

- ① 9歳から14歳では2回接種ですが、大丈夫でしょうか？
→9歳から14歳を対象にした治験では2回の接種で抗体の上昇が確認されております。
- ② これまで2回、ガーダシル(4価ワクチン)を接種して、3回目をシルガードにしても差支えありませんか？
→基本的な予防効果は確認されており、厚生労働省も変更は容認しております。

高座渋谷
つばさ
クリニック

接種受付時間：9：00～17：00
休診日：火・土(午後のみ)・日・祝日
小田急電鉄江ノ島線 高座渋谷駅徒歩1分！

TEL

046-279-5111